

大哺乳類展3のお話

あたたかいを通りこして、暑い日もありますね。愛媛県や高知県で地震があったり、インドネシアで火山の噴火があったり、と自然災害のニュースもつづいて
います。被災した方や避難した方の健康も心配ですね。

さて、4/14の日曜日に、
イープロの4・5年生の有志

と、国立科学博物館の大哺乳類展3

を見に行ってきました

した。タイトルの通り哺乳類

類についての3回目の特別展で、1回目からは10年以上たっています。今回は、

哺乳類の分類について、分子系統解析の観点からのグループ分けと、体の特徴

である形質によるグループ分けを並べて展示し、近年の研究からわかってきた

ことをわかりやすく解説する、という作りになっていました。

科博に行くのが好き、という人は地球館で動物のはく製を見たことがあると

と思いますが、今回の展示でもたくさんの哺乳類のはく製、骨格標本、ゾウの心

臓の模型（実物大！）などが並んでいて、見るだけで圧倒される感覚がありました。

た。



分子系統解析は、生物の遺伝情報をもつ DNA (デオキシリボ核酸) そのものを分析して生物の違いをさぐる、という研究方法です。少ないサンプルからでも PCR (ポリメラーゼ連鎖反応) という手法で DNA を増やし、その塩基配列を読み取り、ほかのサンプルと比べることができます。発展途上の技術でもあり、この先の成果が楽しみな分野でもあります。

ティープロの理科では、4年生で DNA や生物の進化について学習します。低学年の人たちは、楽しみにしています。



今回、参加できなかった4・5年生の人たちは、6月にもう一度予定していますので、そちらに参加してもらえれば、と思います。お知らせを待っててくださいね。

24/4/18 (キノコ研究のための PCR 装置が家にある) あん Do



<https://mammals3.exhibit.jp/>

大哺乳類展 3 のページ